

2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

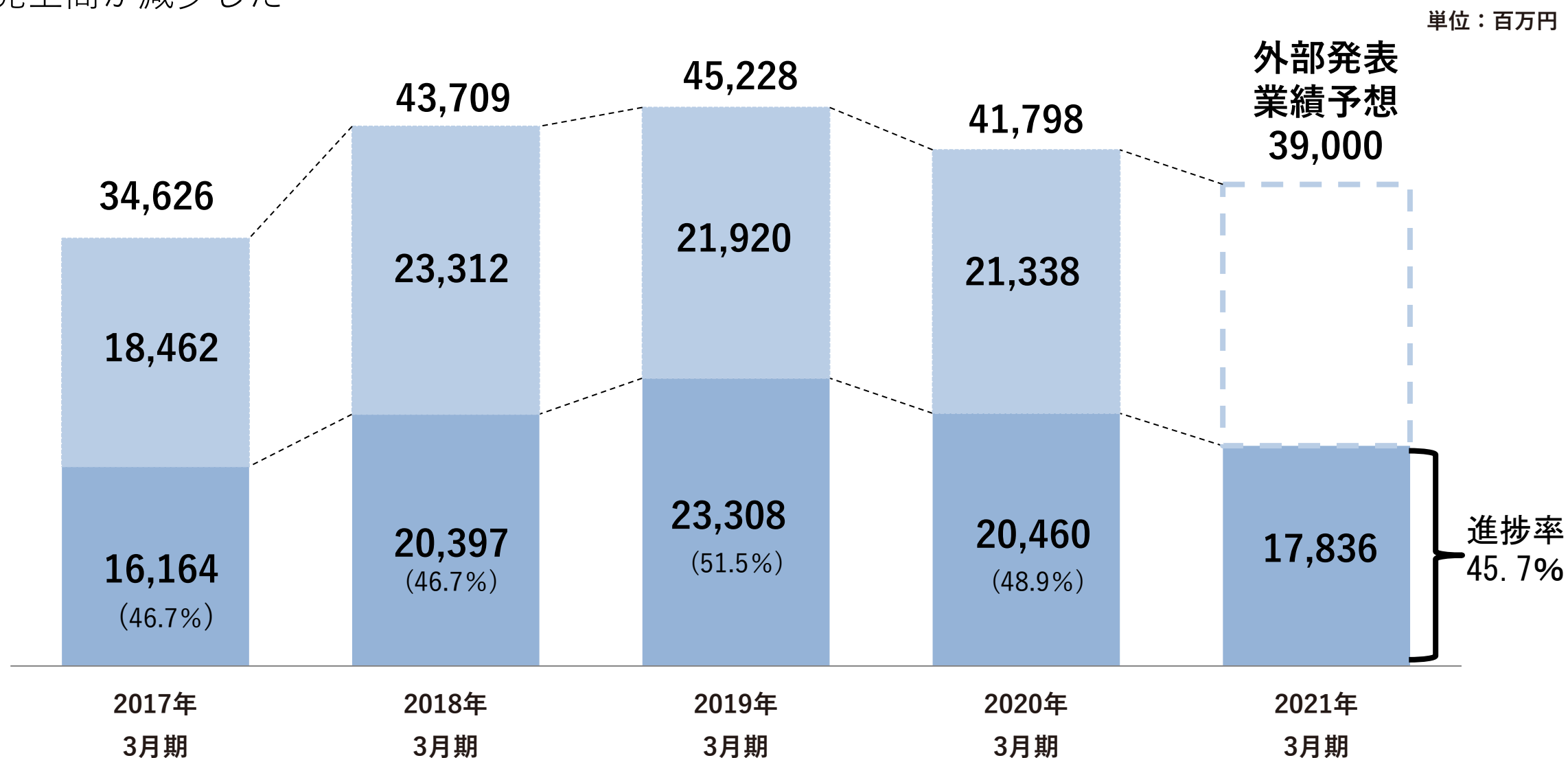
目次

1.	【連結】業績推移	2頁
2.	【連結】販売の状況	6頁
3.	【連結】損益の状況	7頁
4.	【連結】貸借対照表	8頁
5.	【連結】キャッシュ・フロー	9頁
6.	2021年3月期第2四半期のトピック	10頁
7.	事業環境	11頁
8.	対処すべき課題と進捗	14頁
9.	2021年3月期【連結】業績予想	20頁
10.	株主還元	21頁

1. 【連結】業績推移（1）直近の売上高推移

売上高は前年同上半期比 12.8% 減少

◆新型コロナウイルス感染症の影響等による設備投資の大幅な減少の影響を受け、前年同上半期比売上高が減少した



※下段 ■ が上半期実績 () 内は通期に対する占有率、上段 ■ が下半期実績を示す。

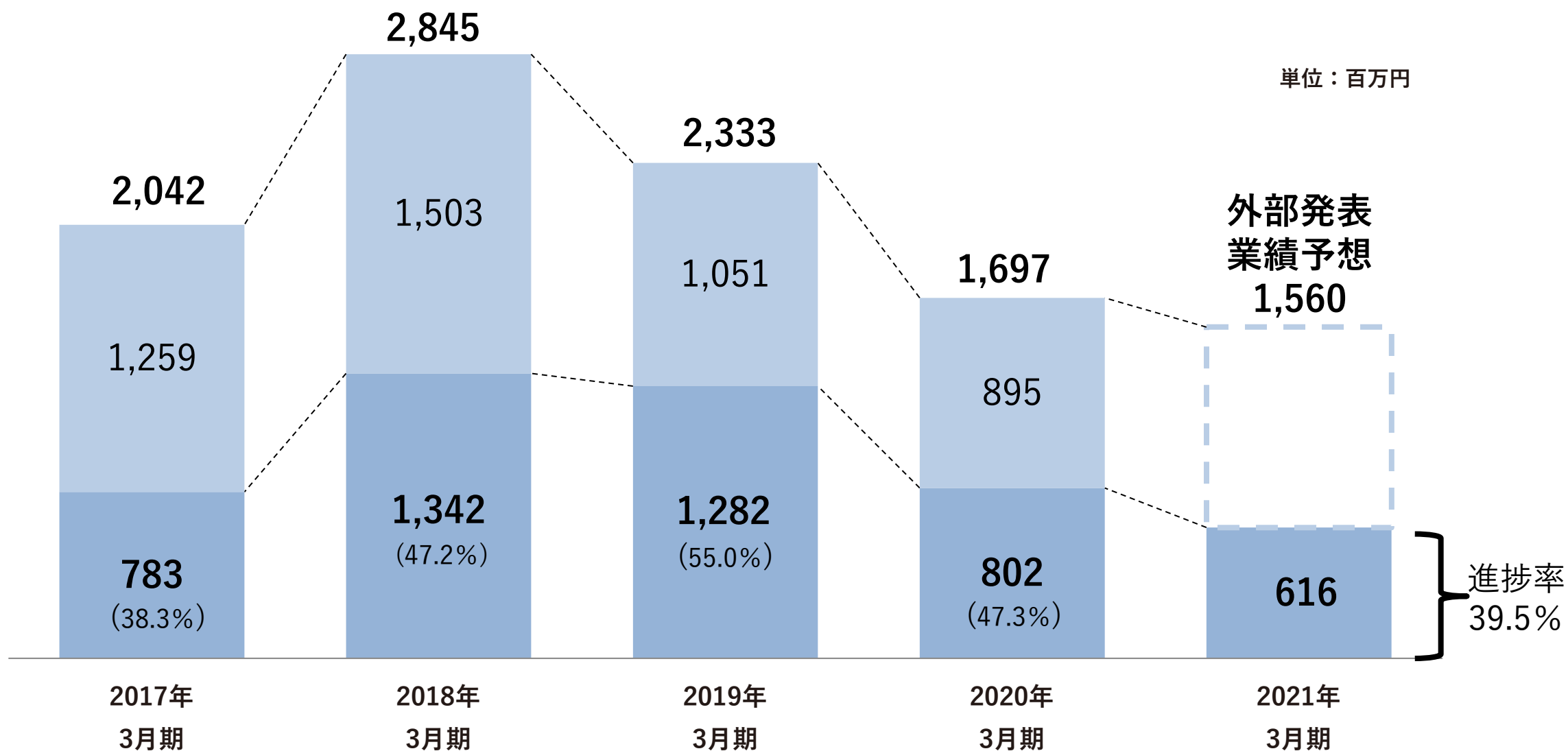
あたらしい、を、素材から。



1. 【連結】業績推移（2）直近の経常利益推移

経常利益は前年同上半期比 23.1% 減少

- ◆売上高減少及び売上高減少に見合う固定費の削減ができなかったことが主因
- ◆商品在庫に係わる相場差損が114百万円発生（前年同上半期は相場差損101百万円）



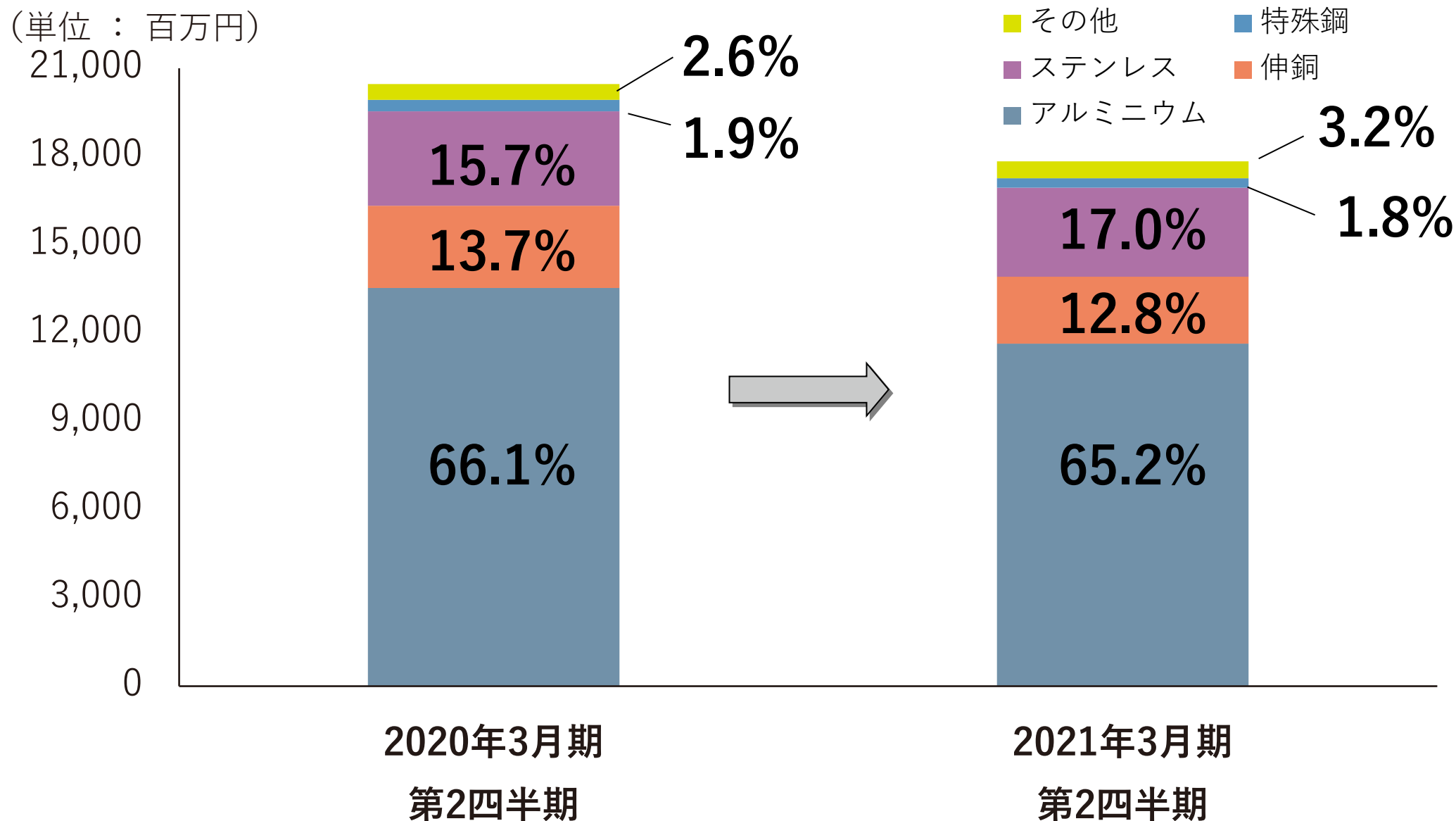
※下段 ■ が上半期実績（）内は通期に対する占有率、上段 ■ が下半期実績を示す。

あたらしい、を、素材から。



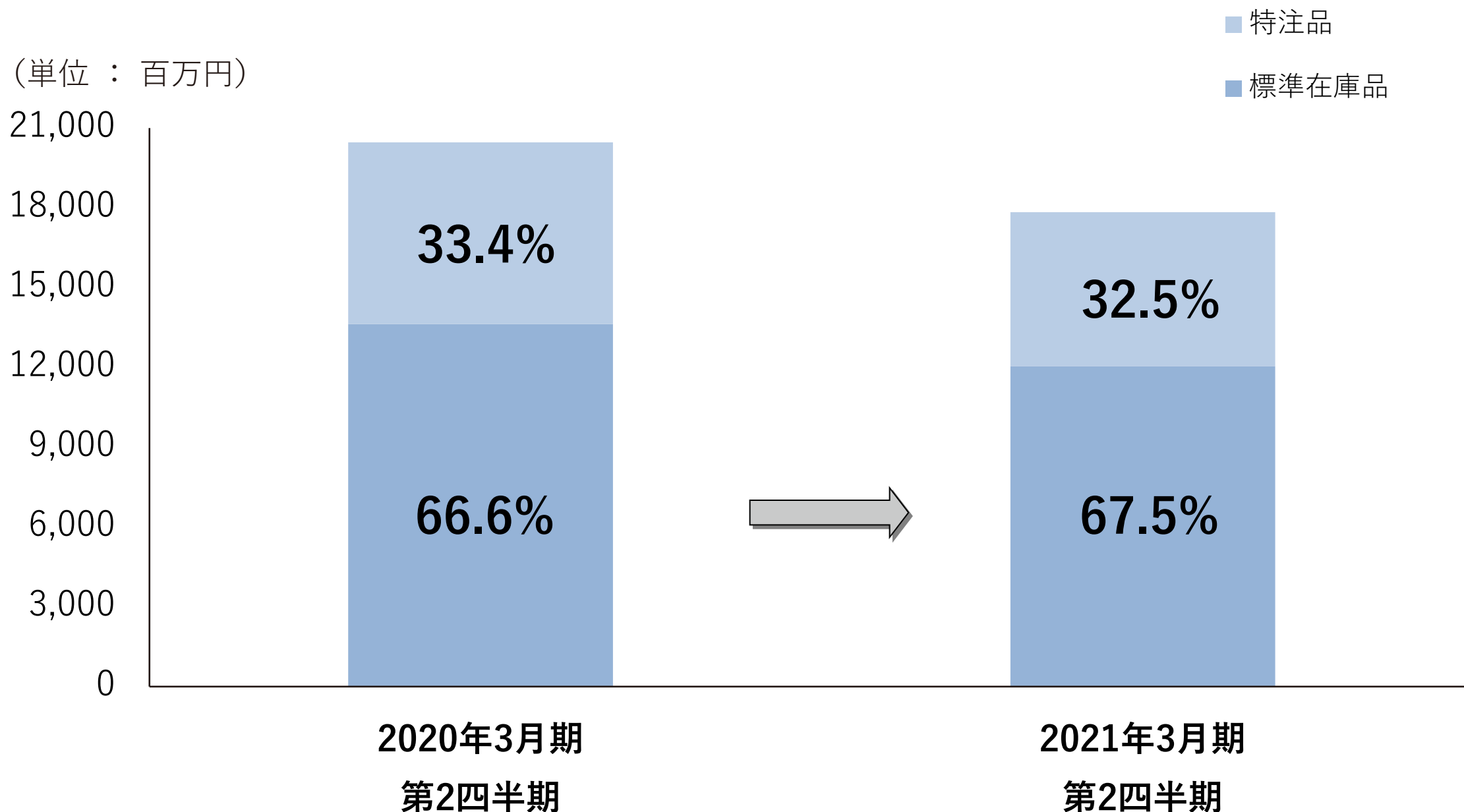
1. 【連結】業績推移（3）売上高の構成比率（品種別）

主力のアルミニウム製品の比率が0.9ポイント減少し
ステンレス製品の比率が1.3ポイント増加した



1. 【連結】業績推移（4）売上高の構成比率（標準在庫品・特注品別）

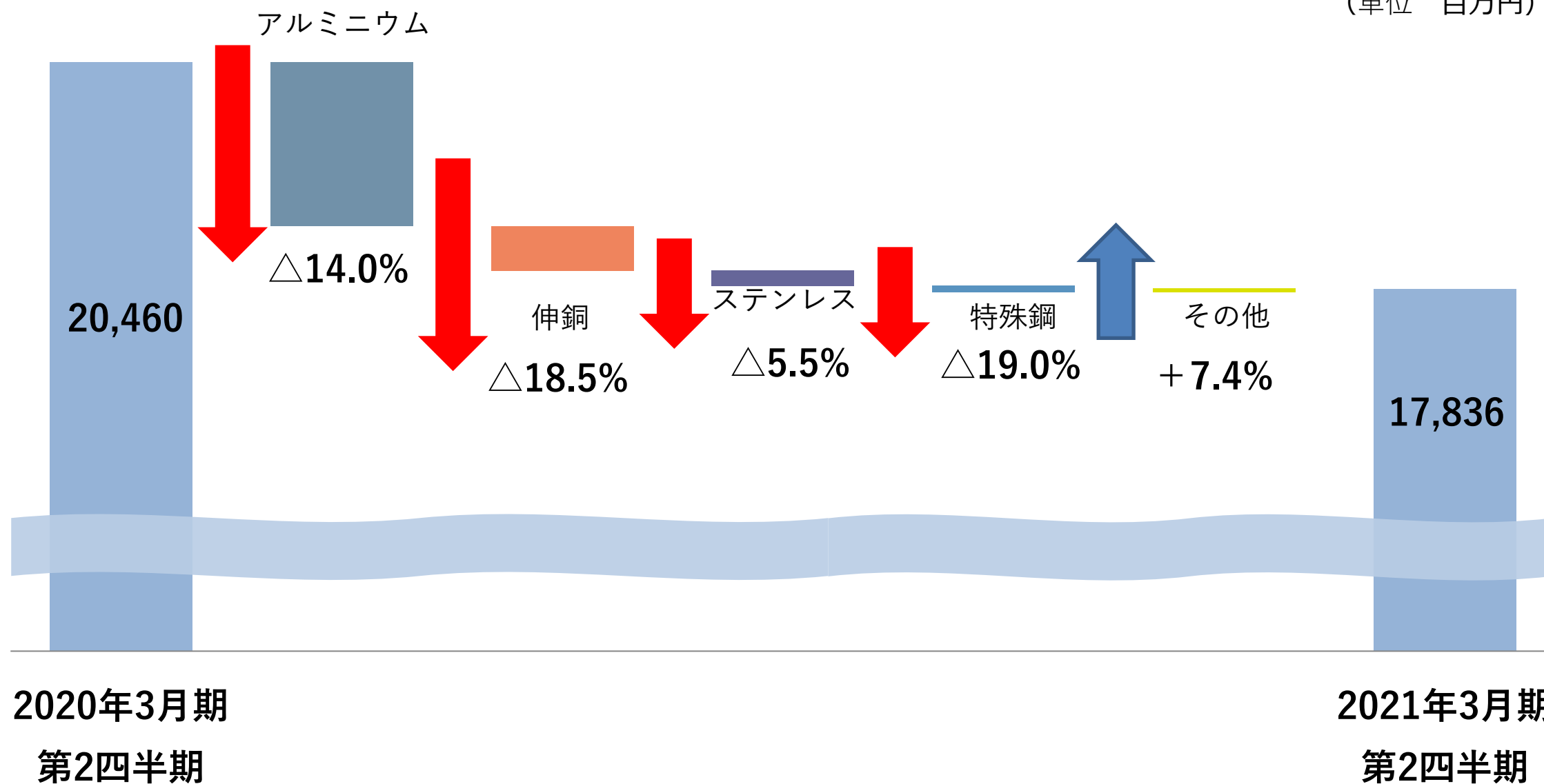
標準在庫品売上高の比率が0.9ポイント増加



2. 【連結】販売の状況 売上高変動内訳（品種別）

主力のアルミニウム製品を含め全体的に売上高が減少

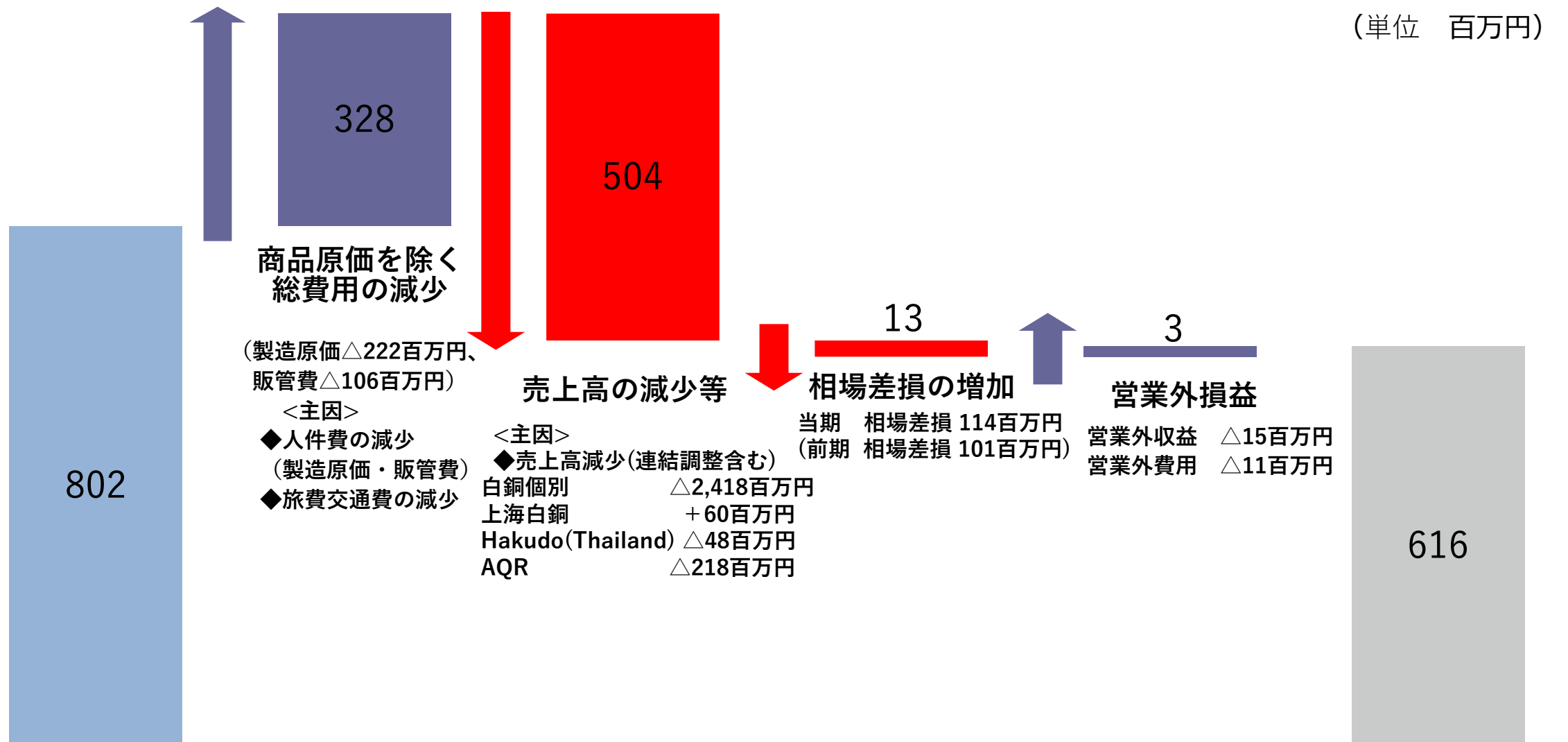
（単位 百万円）



3. 【連結】損益の状況 経常利益差異要因

売上高の減少と原材料市況の影響により減益

(単位 百万円)



2020年3月期
第2四半期

2021年3月期
第2四半期



増加要因



減少要因

4. 【連結】貸借対照表

< 貸借対照表(前連結会計年度末比) >

単位：百万円

資産の部	2020年3月末	2020年9月末	増減	負債及び純資産の部	2020年3月末	2020年9月末	増減
流動資産	23,695	19,883	△ 3,811	流動負債	14,945	11,160	△ 3,784
現金及び預金	4,968	3,896	△ 1,072	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	13,509	9,944	△ 3,565
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	12,533	10,147	△ 2,385	未払金・未払費用	730	635	△ 94
棚卸資産	6,077	5,697	△ 379	未払法人税等	210	218	8
その他流動資産	116	142	26	その他流動負債	495	362	△ 132
固定資産	8,375	8,170	△ 205	固定負債	44	44	0
有形固定資産	6,608	6,412	△ 195	負債合計	14,989	11,205	△ 3,784
無形固定資産	412	411	△ 1	純資産	17,081	16,848	△ 232
投資その他の資産	1,354	1,346	△ 8				
資産合計	32,071	28,054	△ 4,016	負債及び純資産合計	32,071	28,054	△ 4,016

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 19,883百万円（前連結会計年度末比 3,811百万円減少）

- ・ 配当金・税金の支払いによる現預金の減少
- ・ 売上高減による受取手形及び売掛金の減少

②固定資産 8,170百万円（前連結会計年度末比 205百万円減少）

- ・ 有形固定資産の減少195百万円（取得額164百万円 償却額352百万円）
- ・ 無形固定資産の減少 1百万円
- ・ 投資その他の資産の減少8百万円

③流動負債 11,160百万円（前連結会計年度末比 3,784百万円減少）

- ・ 仕入減による支払手形及び買掛金の減少

④純資産 16,848百万円（前連結会計年度末比 232百万円減少）

5. 【連結】 キャッシュ・フロー

減益及び売上減少比仕入額の大幅減少による運転資金の増加で営業CFがマイナスとなり現預金が減少

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	△60	△218
投資活動による キャッシュ・フロー	△655	△201
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,230	△655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	3
現金及び現金同等物の増加額	△1,971	△1,072
現金及び現金同等物の期首残高	6,087	4,968
現金及び現金同等物の期末残高	4,115	3,896

主な内訳

①営業活動によるキャッシュ・フロー

△218百万円

- ・税金等調整前当期純利益 : 616百万円
- ・減価償却費 : 406百万円
- ・売上債権の増減額 (△は増加) : 2,387百万円
- ・たな卸資産の増減額 (△は増加) : 378百万円
- ・仕入債務の増減額 (△は減少) : △3,563百万円
- ・法人税等の支払額 : △183百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

△201百万円

- ・有形固定資産の取得に伴う支出 : △157百万円
- ・無形固定資産の取得に伴う支出 : △48百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー

△655百万円

- ・配当金支払による減少 : △655百万円

6. 2021年3月期第2四半期のトピック

<出資先であるベトナムの大手非鉄金属商社オリスター社との協業検討開始>

概要

- ・ 当社のベトナムにおける提携代理店
- ・ 2020年6月に事業拡大を目的とした普通株式と優先株（合算して約20%）の第三者割当増資を引受け完了
- ・ E-Commerceシステム導入や製造面でのコンサルティング提供について協議を開始

<確定拠出年金制度への移行及び特別損失の計上>

1. 概要

退職給付制度を確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度に移行

2. 業績への影響等

2021年3月期において、積み立て不足額約2億円を特別損失として計上する見通し

<ESGへの取組み強化>

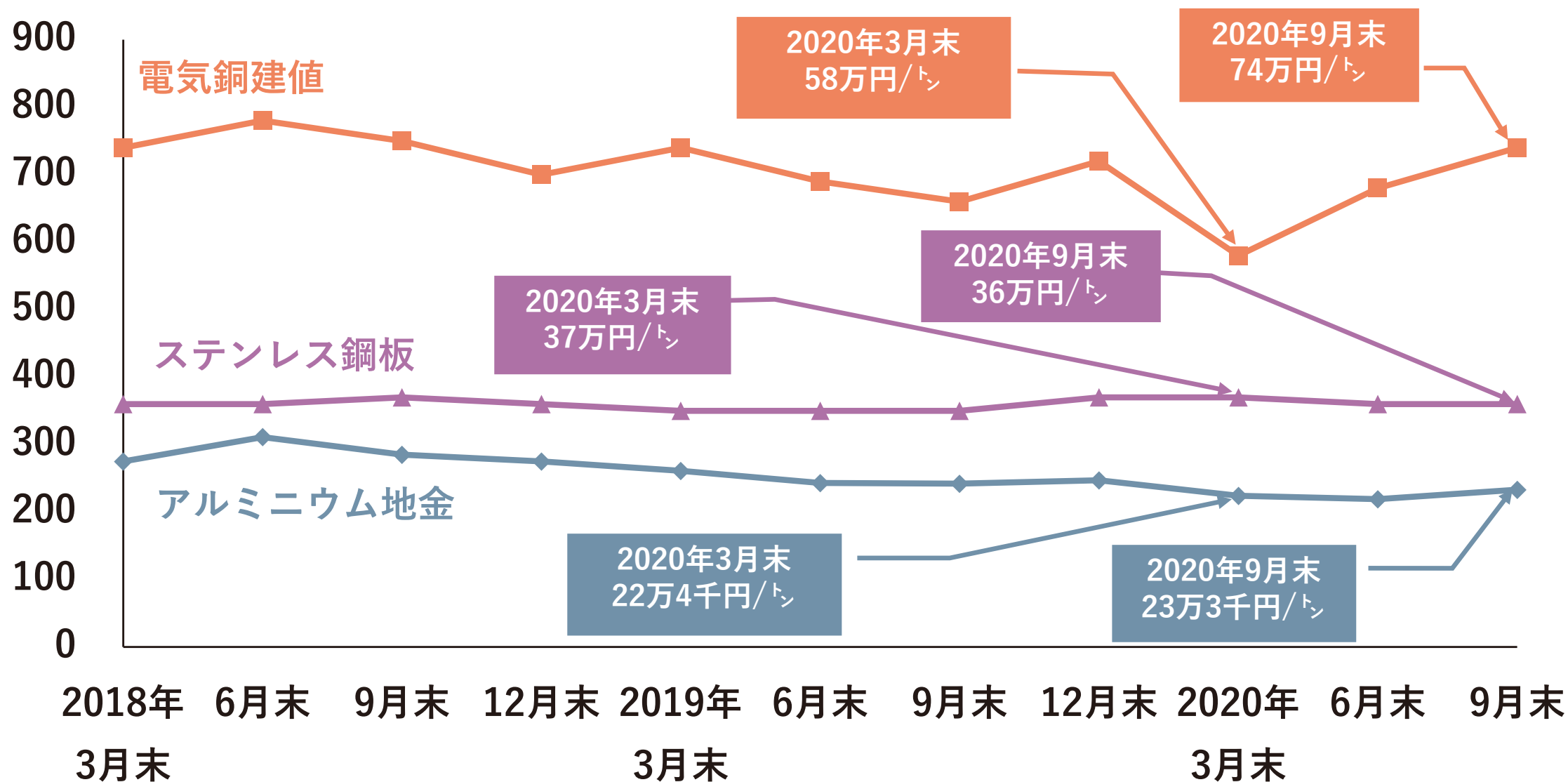
概要

- ・ 経営幹部を中心としたESG経営委員会を設置
- ・ 「事業を通じた継続的な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」を実現

7. 事業環境（1）アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

主力商品のアルミニウム・伸銅の地金価格は上昇傾向

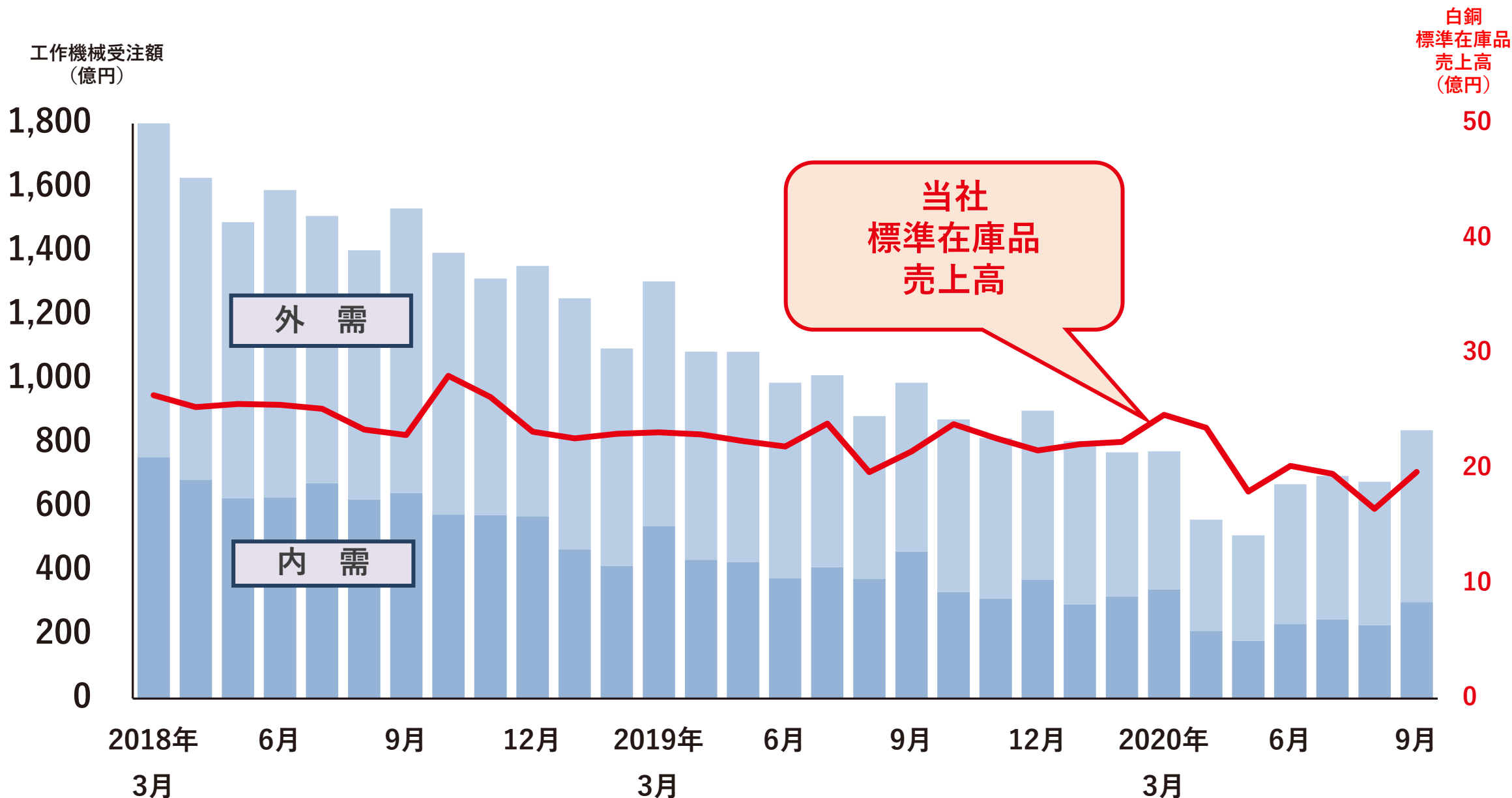
(単位：千円/トン)



ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

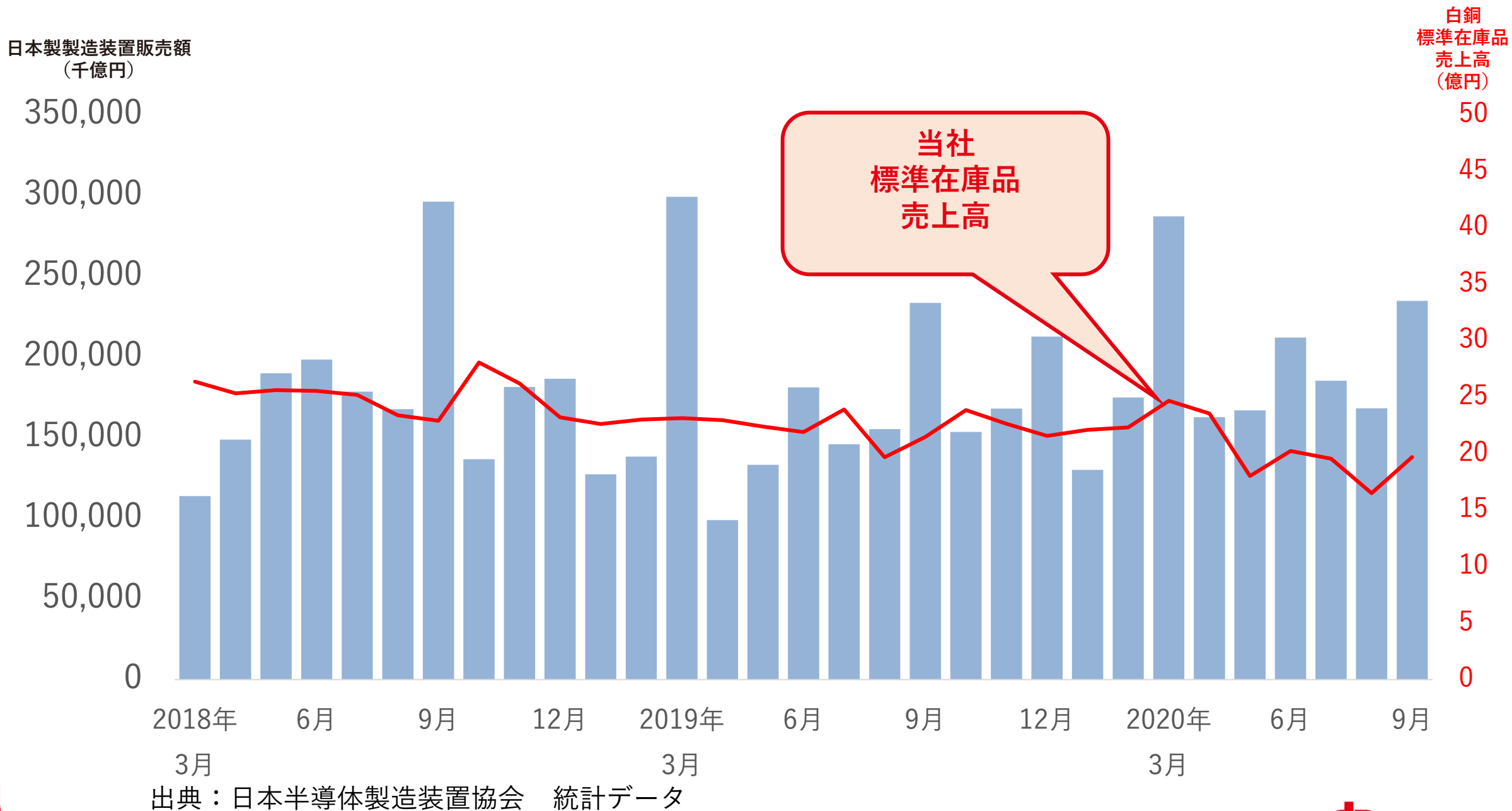
7. 事業環境（2） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

工作機械受注額は外需・内需ともに低調なるも回復傾向



7. 事業環境（3） 日本製半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

5G関連の増大で需要拡大が見込まれるも先行き不透明



8. 対処すべき課題と進捗（1）－1

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-1 ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoT推進による製造現場の革新

【過去の投資実績と今期の予定】

固定資産取得額(連結)

(単位：百万円)

2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期 (予定)
102	295	599	857	683	1,342	1,311	1,300	705	586

設備投資の効果により、当社工場の生産能力は
2014年3月期と比較し1.3～1.8倍に増強した



【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

2014年3月期と比較し2021年3月期上期は約 1 / 16に減少

【製造関連の返品発生件数率】

2014年3月期と比較し2021年3月期上期は約 1 / 3に減少

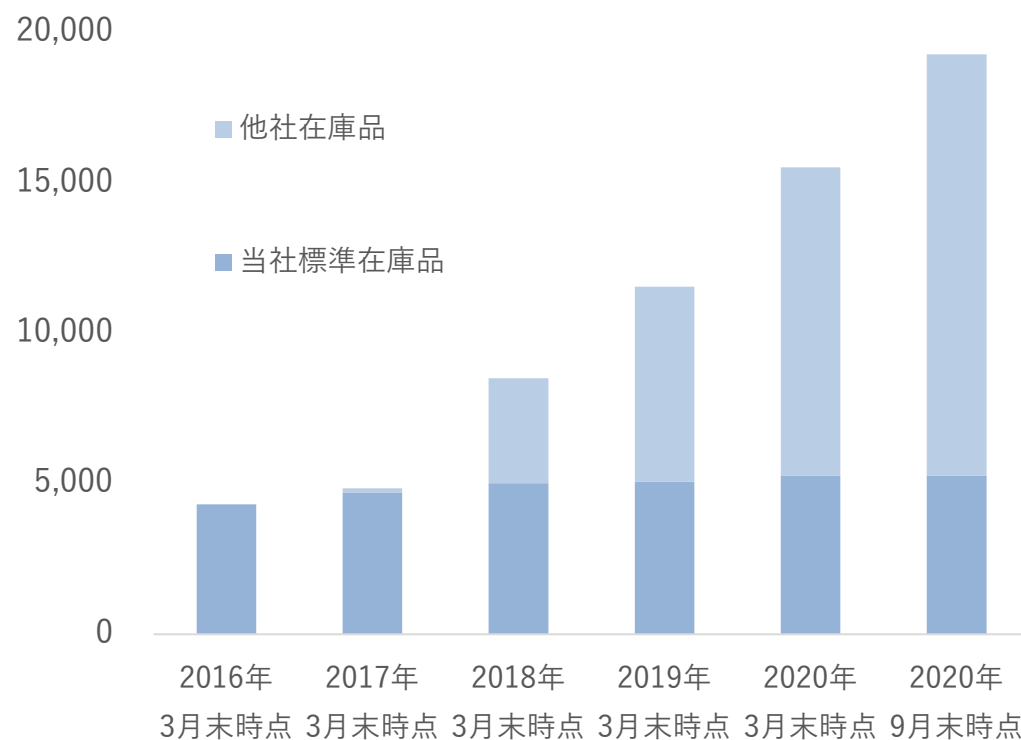
8. 対処すべき課題と進捗（1）－2

(1) ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

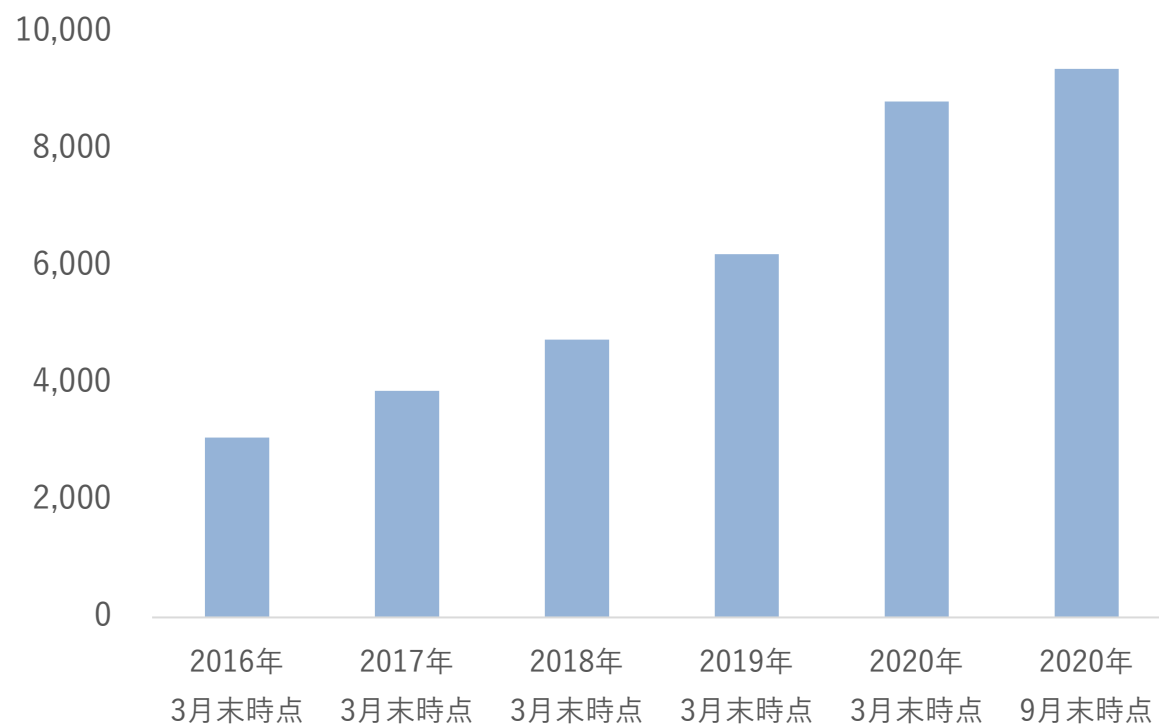
(1)-2 「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・ 品目サイズを大幅拡充、当社標準在庫品約5,000品目サイズ・他社在庫品約14,000品目サイズ
合計約19,000品目サイズがご利用可能
- ・ 白銅ネットサービスへの参加仕入先企業数が100社を突破
- ・ 引合いの白銅ネットサービス利用率90%以上を目指す

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



8. 対処すべき課題と進捗（1）－2

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

(1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・材料以外の商品も取り扱い増加中(約1,460品目サイズご利用可能)



にこここグリップ（ウイルス対策用フック）



飛沫防止パネル

その他、エンドミル・ねじ・パレット等も取り扱い

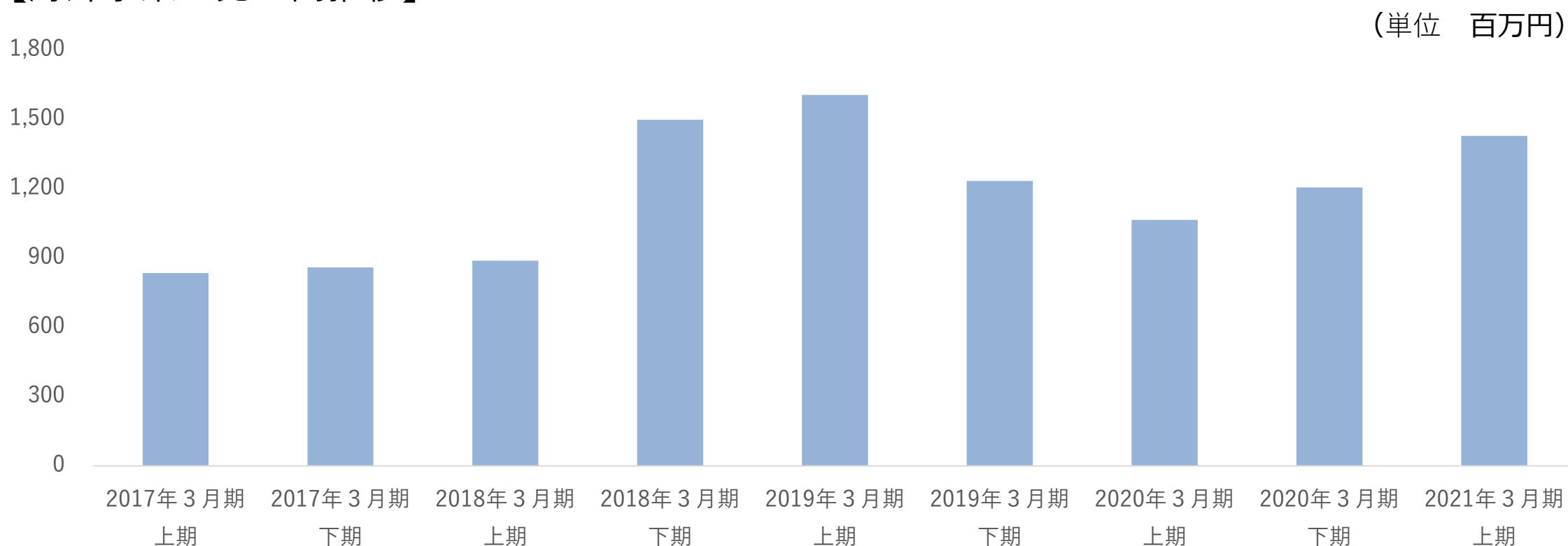
8. 対処すべき課題と進捗（2）

(2) 海外事業の拡大

- ◆ 海外子会社の売上高および利益の増大
- ◆ 2020年6月に出資を完了したベトナム大手非鉄金属商社であるオリスター社との協業体制の構築
- ◆ 海外での非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網確立
- ◆ 海外代理店との連携強化と新規進出国（米国・韓国等）の検討
- ◆ 海外でのWeb販売の強化

白銅グループ全体に占める海外事業の売上高10%以上を目指す

【海外事業の売上高推移】



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

あたらしい、を、素材から。



8. 対処すべき課題と進捗（3）－1

(3) 新規事業の育成

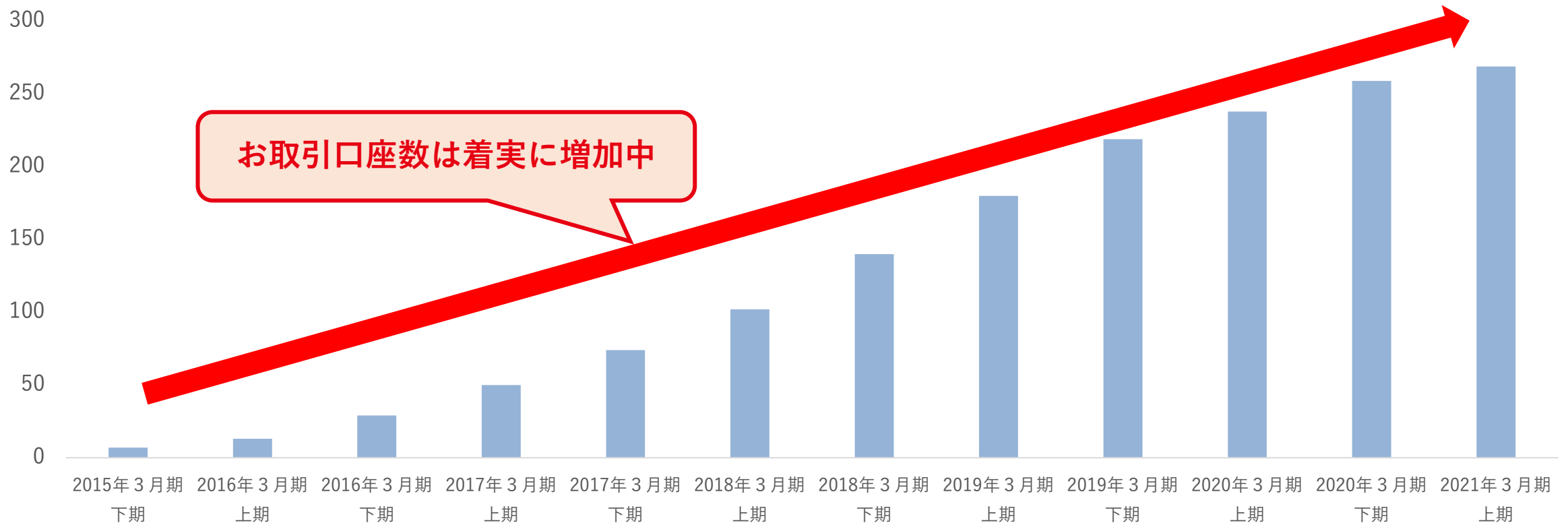
(3)-1 3Dプリンターによる金属製品の受託製造

- ・アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービスの販売強化
- ・3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
- ・検査設備増強による検査体制の強化
- ・3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販



画像提供：3D Systems Corporation

【3Dプリンター関連口座数（累計）】



8. 対処すべき課題と進捗（3）－2

(3) 新規事業の育成

(3)-2 航空宇宙規格材料のコンビニエンスディーラーを目指す

業界最大級の
豊富な在庫ラインアップ

航空機の構造材、各種の装備品
や人工衛星部品などに使用され
る材料を豊富なサイズラインア
ップで品揃え

規格に合致した品質確保

JIS Q 9100(航空宇宙)を取得
神奈川工場・滋賀工場

海外からの輸入にも対応

海外との幅広いネットワークを使
って、輸入にも迅速に対応いた
します。

2020年1月にウォータージェットを新規導入、航空宇宙業界を中心に販売展開する



あらゆる材質を任意の形状に切断加工

9. 2021年3月期【連結】業績予想

業績の進捗状況及び現状の業況に鑑み、期初発表予想から修正なし

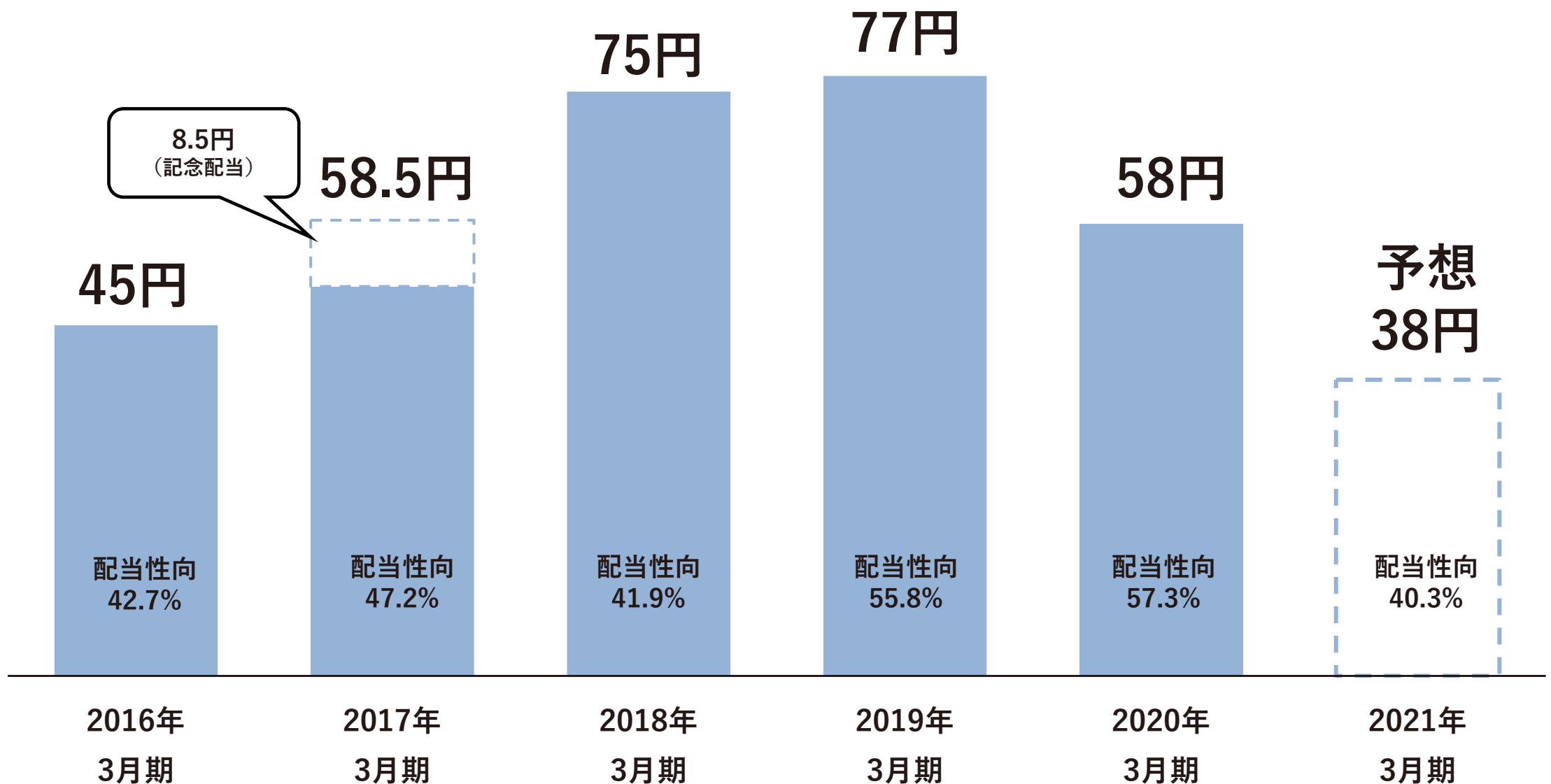
(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 通期 (予想) ※	前連結会計年度比 増減額	同増減率
売上高	41,798	39,000	△2,798	△6.7%
営業利益	1,658	1,500	△158	△9.6%
経常利益	1,697	1,560	△137	△8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,148	1,070	△78	△6.8%

※2020年5月13日発表数字

10. 株主還元 1株当たり配当金の推移

2020年3月期は業績下方修正あるも期初発表配当額（58円）維持



ご視聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2020年11月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先：白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮

ホームページ：<https://www.hakudo.co.jp/>

メールアドレス：001002@hakudo.co.jp